

2024年4月17日 全8頁

## Indicators Update

# 2024年3月貿易統計

2023年度の貿易赤字は5兆円超も赤字幅は前年度から大幅に縮小

経済調査部 エコノミスト 岸川 和馬

### [要約]

- 2024年3月の貿易統計によると、輸出金額は前年比+7.3%と4カ月連続で増加し、季節調整値で見ても前月比+2.6%と3カ月ぶりに増加した。半導体等製造装置の好調を主因に、輸出の実勢を示す輸出数量が増加した。輸入金額は前年比▲4.9%と2カ月ぶりに減少し、季節調整値では前月比+3.9%となった。これを受け、貿易収支は+3,665億円、季節調整値では▲7,015億円となった。また2023年度の貿易収支は▲5兆8,919億円と3年連続の赤字となったが、資源価格の低下などにより赤字幅は前年度から大幅に縮小した。
- 1-3月期の実質GDP成長率における外需寄与度はマイナスを見込む。財の輸出数量、輸入数量はともに前期比▲3.7%と試算される一方、サービス収支は1月、2月の合計で▲6,463億円（季節調整値）となった。3月の国際収支統計の結果次第ではあるものの、サービス収支が外需寄与度を押し下げる姿が予想される。
- 3月の輸出数量（大和総研による季節調整値）は前月比+3.7%と3カ月ぶりに増加した。前月に減少していた半導体等製造装置の輸出が中国向けを中心に復調した。他方、2023年中に挽回輸出が進んでいた自動車では減速感が強まった。地域別に見ると、米国向け（同▲2.4%）やEU向け（同▲10.4%）が減少した一方、アジア向け（同+8.0%）は増加に転じた。
- 先行きの輸出数量は横ばい圏で推移した後、年後半にかけて増加基調に転じるとみている。米欧で景気が減速する中で、当面はシリコンサイクル（世界半導体市場に見られる循環）の回復による半導体関連財の輸出増が下支えしよう。とりわけ半導体等製造装置は、日本の輸出総額に占める割合が一品目で3.6%（2023年度）と比較的大きいことから、先行きの下支え要因となる可能性が高い。

## 【貿易金額】外需の軟調さもあって1-3月期の実質GDP成長率の外需寄与度はマイナスを予想

2024年3月の貿易統計によると、輸出金額は前年比+7.3%と4カ月連続で増加し、コンセンサス（同+7.0%、Bloomberg調査）を小幅に上回った（**図表1**）。輸出金額全体の季節調整値は前月比+2.6%と3カ月ぶりに増加した。輸出の実勢を表す輸出数量（大和総研による季節調整値、以下同）が同+3.7%と、1月や2月の減少の反動や半導体等製造装置の好調を主因に増加したことが主因だ（**図表2左**）。もっとも、金額で見れば年初の水準を下回っており、外需は依然として軟調と評価できる。

輸入金額は前年比▲4.9%と2カ月ぶりに減少した。石炭（同▲35.1%）などが押し下げた。ただし、液化天然ガス（同▲9.5%）の減少幅は縮小傾向にあるほか、原粗油（同+2.8%）が増加に転じており、一部のエネルギー品目の価格には下げ止まりの兆しが見られる。輸入金額全体の季節調整値は前月比+3.9%と、輸入価格が上昇に転じたことで2カ月ぶりに増加した。貿易収支は+3,665億円と3カ月ぶりの黒字となった一方、季節調整値では▲7,015億円と赤字が継続している（**図表3**）。

また、2023年度の輸出金額は前年比+3.7%、輸入金額は同▲10.3%となった。輸出では自動車の挽回輸出が目立った一方、鉱物性燃料や半導体等製造装置が減少し、輸出全体で見れば小幅な伸びにとどまった。輸入では資源価格の低下の影響が円安の影響を上回り、石炭、液化天然ガス、原粗油などのエネルギー品目が大幅に減少した。これを受けて貿易収支は▲5兆8,919億円と3年連続の赤字となったが、赤字幅は2022年度（▲22兆579億円）から大幅に縮小した。

1-3月期の実質GDP成長率における外需寄与度はマイナスを見込む。財の輸出数量、輸入数量はともに前期比▲3.7%と試算される一方、サービス収支は1月、2月の合計で▲6,463億円（季節調整値）と2023年10-12月期の+3,561億円（同）を大きく下回った。3月の国際収支統計の結果次第ではあるものの、サービス収支が外需寄与度を押し下げる姿が予想される。

図表1：貿易統計の概況

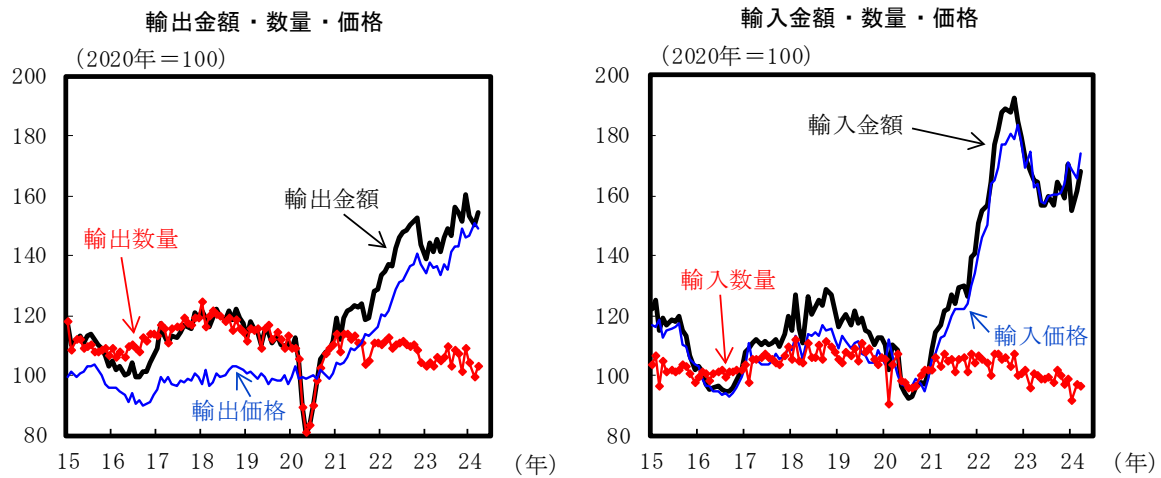
		2023年					2024年				
		7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
原系列 前年比 %	輸出金額	▲0.3	▲0.8	4.3	1.6	▲0.2	9.7	11.9	7.8	7.3	
	コンセンサス									7.0	
	DIRエコノミスト予想									6.4	
	輸入金額	▲14.1	▲17.7	▲16.5	▲12.4	▲11.8	▲6.8	▲9.7	0.5	▲4.9	
	輸出数量	▲2.8	▲5.3	0.2	▲3.4	▲5.6	2.9	2.3	▲1.5	▲2.1	
	価格	2.5	4.8	4.1	5.2	5.8	6.6	9.4	9.5	9.6	
	輸入数量	▲6.1	▲9.1	▲3.9	▲3.2	▲3.4	▲3.1	▲8.4	1.3	▲9.4	
価格	▲8.5	▲9.5	▲13.1	▲9.5	▲8.8	▲3.8	▲1.4	▲0.8	4.9		
	貿易収支(億円)	▲613	▲9,401	606	▲6,682	▲7,883	589	▲17,665	▲3,778	3,665	
季節 調整値 前月比 %	輸出金額	2.1	▲1.5	6.3	▲1.1	▲1.7	5.6	▲4.4	▲1.8	2.6	
	数量	3.5	▲5.9	5.1	▲1.1	▲5.6	7.7	▲4.8	▲4.5	3.7	
	価格	▲1.3	4.7	1.1	▲0.0	4.1	▲1.9	0.4	2.8	▲1.1	
	輸入金額	1.8	▲1.6	4.7	▲1.3	▲1.7	6.9	▲9.0	4.3	3.9	
	数量	0.3	▲1.8	4.5	▲1.6	▲3.4	2.2	▲7.5	6.2	▲1.1	
	価格	1.5	0.2	0.2	0.3	1.7	4.6	▲1.7	▲1.8	5.1	
		貿易収支(億円)	▲5,164	▲5,026	▲3,971	▲3,774	▲3,689	▲4,990	▲309	▲5,662	▲7,015
	税関長公示レート	142.32	142.23	146.44	148.88	150.34	146.92	143.95	148.18	149.45	

(注1) 税関長公示レートは円/ドルレート。コンセンサスはBloomberg。

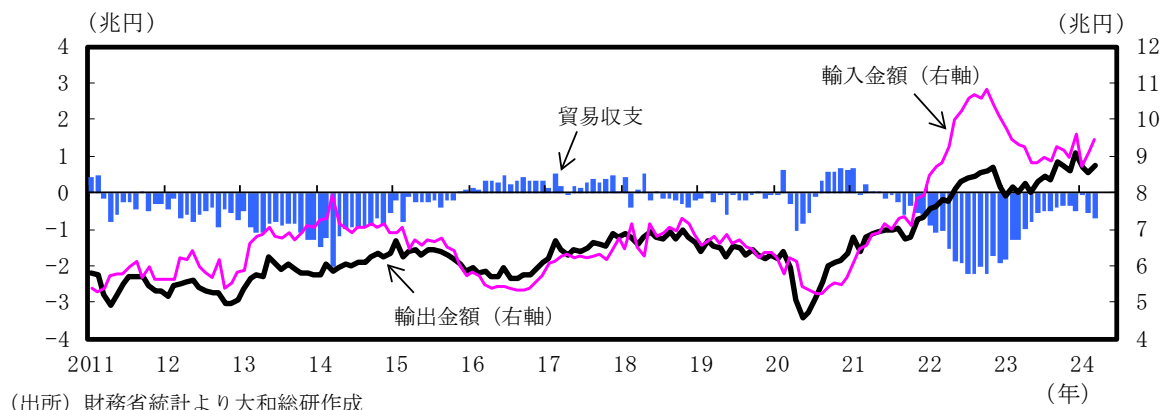
(注2) 数量と価格の季節調整値は大和総研による。

(出所) 財務省、Bloombergより大和総研作成

図表 2 : 輸出金額・数量・価格、輸入金額・数量・価格 (季節調整値)



図表 3 : 輸出、輸入、貿易収支 (季節調整値)



## 【輸出数量】中国向け半導体等製造装置の輸出が急増

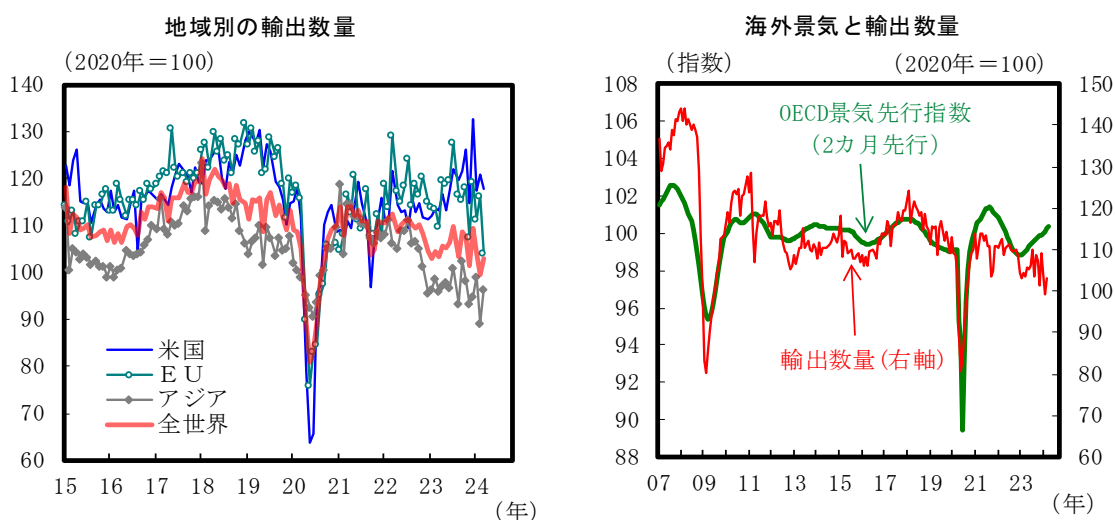
3月の輸出数量は前月比+3.7%と3カ月ぶりに増加した。前月に減少していた半導体等製造装置が、中国向けを中心に復調したことが主因だ。他方、2023年中に挽回輸出が進んでいた自動車では減速感が強まった。地域別に見ると、米国向け（同▲2.4%）やEU向け（同▲10.4%）が減少した一方、アジア向け（同+8.0%）は増加に転じた。

米国向けは2カ月ぶりに減少した。自動車や同部分品、医薬品、集積回路（IC）などが減少した。自動車の対米輸出台数は2023年末をピークに減少基調にあり、半導体不足の解消を受けた挽回輸出は減速している。他方で自動車の部分品は振れを伴いながらも増加基調にあり、自動車の現地生産動向は堅調とみられる。その他の品目では、前月に減少していた半導体等製造装置、鉄鋼、電算機類の部分品などで反動増が表れた。

EU向けは2カ月ぶりに減少した。自動車輸出が3カ月ぶりに大幅に減少したほか、同部分品やバス・トラック、鉄鋼など周辺産業の輸出も下振れした。2023年末に自動車やバス・トラックなどの大型車の新たな排出基準を定めた欧州委員会の規則案「Euro 7」が暫定合意に達しており、同基準に満たない車両やその部材の輸出が減速している可能性がある<sup>1</sup>。その他の品目では、半導体等製造装置や医薬品が減少した一方、プラスチックなどが増加した。

アジア向けは2カ月ぶりに増加した。中国向けの半導体等製造装置が全体を大きく押し上げた。半導体等製造装置は2023年7月に実施された輸出管理規制の強化の影響で先端品の中国向け輸出が困難になったものの、中国の現地工場では非先端品を用いた生産ラインへの切り替え需要が発生しているとみられ、日本からの輸出は増加傾向にある。アジア向けのその他の品目ではバス・トラックや鉄鋼、プラスチックなどが増加した一方、集積回路（IC）などは減少した。

図表4：地域別の輸出数量、海外景気と輸出数量（季節調整値）



<sup>1</sup> [“Euro 7: Council and Parliament strike provisional deal on emissions limits for road vehicles”](#)  
(欧州連合理事会、2023年12月18日)

## 【見通し】半導体等製造装置の輸出増が輸出数量の下支え要因に

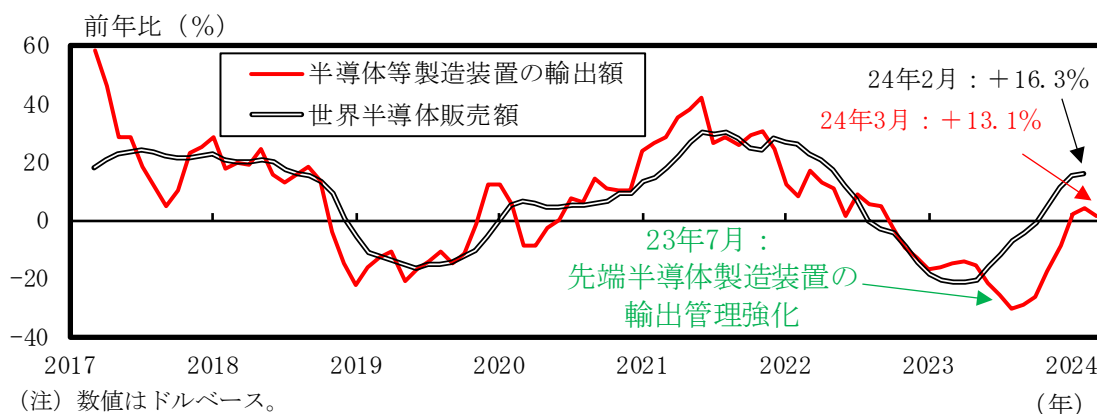
先行きの輸出数量は横ばい圏で推移した後、年後半にかけて増加基調に転じるとみている。米欧で景気が減速する中で、当面はシリコンサイクル（世界半導体市場に見られる循環）の回復局面入りによる半導体関連財の輸出増が下支えしよう。とりわけ半導体等製造装置の輸出額の伸び率は世界半導体販売額のそれにやや先行する傾向がある（図表5）。輸出管理強化によって中国向けの半導体等製造装置の輸出が減少するリスクはあるが、日本の輸出総額に占める割合が一品目で3.6%（2023年度）と比較的大きいため、先行きの下支え要因となる可能性が高い。

輸出の先行きを地域別に見ると、米国向けは当面は横ばい圏で推移するとみている。3月の小売売上高は前月比+0.7%と個人消費は足元で底堅く、日本からの輸出の急減は見込みにくい。とはいえ、景気の底堅さを背景にFRBによる利下げサイクルの開始が遅れば高水準の政策金利が長期化し、日本からの消費財や資本財の輸出が下振れするだろう。また利下げ開始から景気浮揚効果の発現までにはタイムラグを伴う傾向があるため、仮に早期の利下げが実現しても日本からの輸出の増加には時間を要する見込みだ。

欧州向けは、域内経済の弱さを背景に年央ごろまで減少基調が継続するとみている。ECBは4月11日の理事会で主要政策金利の水準を据え置いた。ラガルド総裁の記者会見では、高止まりするサービスなどのインフレ率が2%に戻る前であっても必要な措置を開始する旨の発言があり、利下げの実施が近い可能性が示唆された。他方で足元の景況感指数は96.2（季節調整値）と、2023年の平均値である95.4に比べて小幅な回復にとどまっている。米国とは対照的に、景気動向の弱さが早期の利下げ開始の材料となり得る一方、当面は日本から欧州向けの輸出増には期待しにくい。

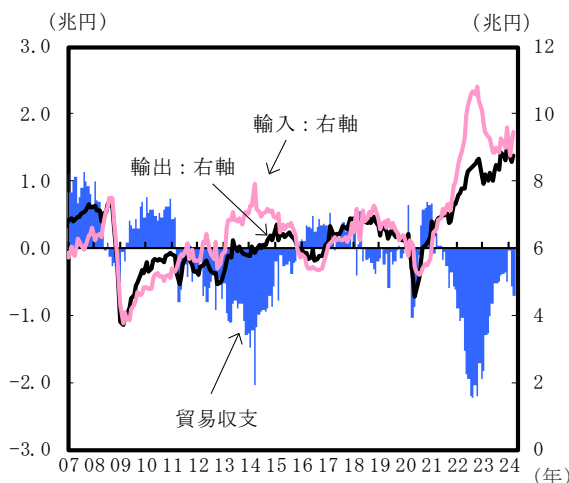
中国向けは緩やかな回復が続くとみている。中国の1-3月期実質GDP成長率は前年比+5.3%と、2023年10-12月期（同+5.2%）から加速した。足元の数値である3月の小売売上高（同+3.1%）や鉱工業生産（同+4.5%）も堅調であり、拡張的な財政政策と緩和的な金融政策の下で安定的な景気回復が継続している。不動産不況は一段と悪化するリスクがあるものの、先行きは2024年内に1兆元発行される超長期特別国債などが需要回復を後押しすることで、中国向け輸出は増加しやすくなるだろう。

図表5：日本の半導体等製造装置の輸出額と世界半導体販売額



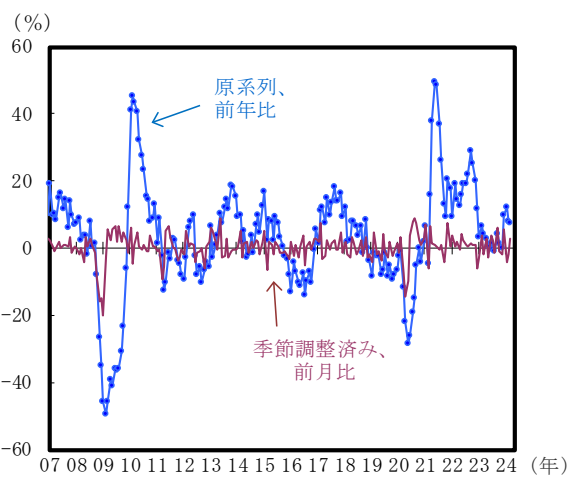
概況

輸出入と貿易収支 (名目、季節調整値)

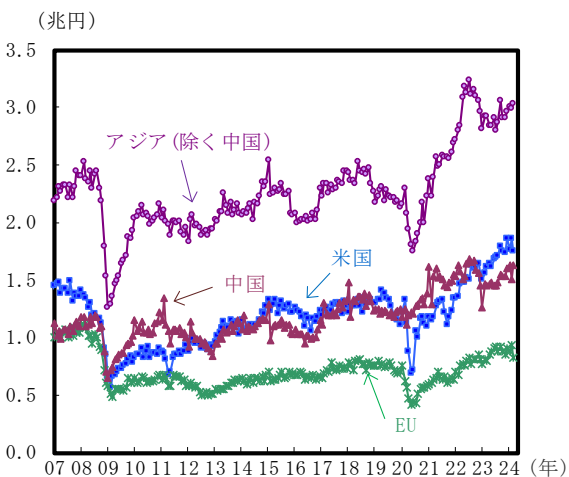


(出所) 財務省統計より大和総研作成

輸出額の変化率 (名目)

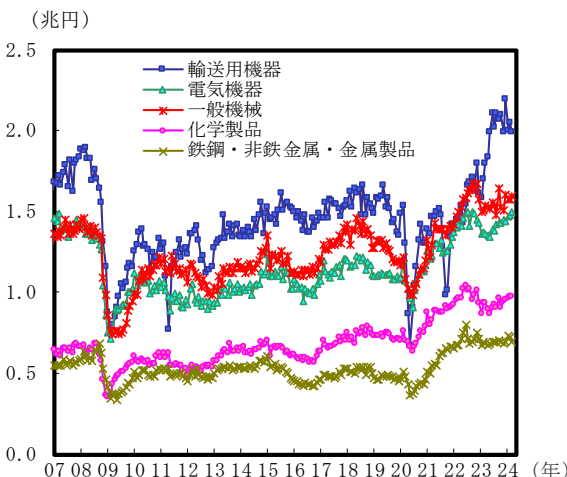


主要地域・国別の輸出額 (名目、季節調整値)

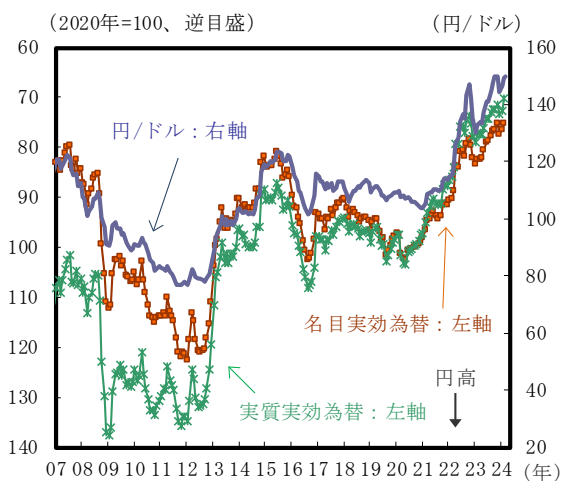


(注) 季節調整は大和総研。  
(出所) 財務省統計より大和総研作成

主要商品別の輸出額 (名目、季節調整値)

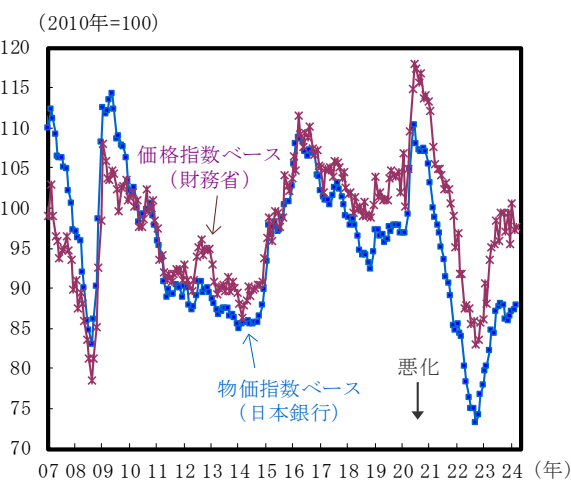


為替相場



(注) 交易条件は、輸出価格指数/輸入価格指数 (輸出物価指数/輸入物価指数)。輸出入価格指数の直近値は大和総研による試算値。  
(出所) 財務省、日本銀行統計より大和総研作成

交易条件



輸出金額 内訳								
	2023/10	2023/11	2023/12	2024/01	2024/02	2024/03		
	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	構成比%	寄与度%pt
総額	1.6	▲0.2	9.7	11.9	7.8	7.3	100.0	7.3
食料品	▲12.6	▲12.8	▲5.8	14.3	▲5.6	▲5.4	1.0	▲0.1
原料品	8.6	5.5	27.0	18.5	21.8	6.9	1.7	0.1
鉱物性燃料	▲12.6	▲2.0	▲21.6	▲32.6	▲35.3	▲5.4	1.8	▲0.1
化学製品	▲7.9	▲6.6	1.8	11.2	4.3	3.9	10.9	0.4
原料別製品	▲3.0	▲6.1	▲0.3	8.2	4.6	2.5	11.3	0.3
鉄鋼	▲3.1	▲11.6	▲6.4	7.2	▲0.1	▲3.6	4.2	▲0.2
非鉄金属	▲6.0	▲7.7	0.3	7.6	7.1	5.2	2.5	0.1
金属製品	1.6	3.5	6.8	10.3	9.9	9.6	1.3	0.1
一般機械	▲6.4	▲10.2	2.0	5.2	3.7	3.9	19.4	0.8
電気機器	▲3.9	▲0.4	1.2	7.6	7.7	9.9	16.5	1.6
半導体等電子部品	▲3.3	6.9	0.7	8.3	6.4	11.3	5.4	0.6
I C	1.8	13.7	5.6	11.4	10.6	15.7	4.0	0.6
映像機器	1.0	▲11.8	▲3.6	20.8	17.0			
映像記録・再生機器	9.3	▲5.3	3.3	12.3	20.8	4.0	0.3	0.0
音響・映像機器の部分品	▲9.6	▲4.7	▲2.7	3.9	▲1.1	▲0.4	0.2	▲0.0
電気回路等の機器	▲12.9	▲12.4	▲6.9	▲4.4	▲0.9	1.5	2.0	0.0
輸送用機器	27.5	11.3	36.6	24.1	20.1	10.3	22.6	2.3
自動車	35.4	16.3	35.9	31.6	19.8	7.1	15.8	1.1
自動車の部分品	5.3	9.8	13.6	22.1	22.6	13.6	3.7	0.5
その他	▲2.3	5.2	11.4	20.3	7.0	14.6	14.8	2.0
科学光学機器	▲15.3	▲3.3	7.4	15.6	9.5	10.5	2.6	0.3

米国向け輸出金額 内訳								
	2023/10	2023/11	2023/12	2024/01	2024/02	2024/03		
	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	構成比%	寄与度%pt
総額	8.5	5.3	20.2	15.6	18.4	8.5	100.0	8.5
食料品	22.4	33.6	22.7	8.7	31.2	21.2	1.0	0.2
原料品	▲46.3	▲30.0	▲17.3	▲14.4	▲15.3	▲3.8	0.4	▲0.0
鉱物性燃料	▲80.1	▲15.9	19.1	51.2	▲87.6	▲59.8	0.3	▲0.6
化学製品	▲16.7	▲6.8	22.5	22.3	7.1	▲12.9	6.6	▲1.1
原料別製品	8.0	▲1.6	▲0.2	▲1.4	7.7	4.3	6.9	0.3
鉄鋼	▲1.5	▲29.3	▲8.5	▲7.7	▲5.6	▲2.3	1.6	▲0.0
非鉄金属	17.7	▲6.9	▲22.2	▲29.6	▲10.5	▲4.4	0.9	▲0.0
金属製品	23.3	16.2	21.1	6.8	31.7	34.2	1.5	0.4
一般機械	1.3	▲7.2	6.4	5.4	11.2	8.7	25.0	2.2
電気機器	▲0.3	▲1.8	4.3	1.4	15.6	10.9	14.0	1.5
半導体等電子部品	▲1.1	▲1.0	0.1	2.5	11.0	2.0	1.2	0.0
I C	12.5	10.9	21.5	7.3	26.0	9.8	0.6	0.1
映像機器	▲4.2	▲15.9	▲8.6	▲6.5	▲17.0			
映像記録・再生機器	▲2.2	▲3.5	3.8	26.2	31.4	18.4	0.5	0.1
音響・映像機器の部分品	60.2	32.4	71.6	57.5	17.2	15.7	0.2	0.0
電気回路等の機器	▲5.1	▲5.2	0.3	3.0	13.4	11.6	1.4	0.2
輸送用機器	33.5	20.4	40.7	36.5	36.9	15.2	34.7	5.0
自動車	37.9	19.0	39.8	32.7	31.8	9.6	26.5	2.5
自動車の部分品	20.1	24.2	35.9	43.6	57.7	47.1	6.2	2.1
その他	▲1.1	8.3	24.3	12.4	9.6	9.3	11.0	1.0
科学光学機器	▲8.3	▲1.9	21.7	5.3	15.0	10.1	2.8	0.3

EU向け輸出金額 内訳								
	2023/10	2023/11	2023/12	2024/01	2024/02	2024/03		
	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	構成比%	寄与度%pt
総額	8.9	▲0.0	10.3	13.8	14.6	3.0	100.0	3.0
食料品	▲10.2	2.1	21.7	5.8	12.8	29.6	0.7	0.2
原料品	▲8.2	▲0.0	13.4	41.4	30.1	13.5	0.9	0.1
鉱物性燃料	▲86.8	▲6.4	▲76.9	95.4	▲50.1	▲16.7	0.0	▲0.0
化学製品	▲10.7	▲5.7	8.7	▲2.7	13.6	20.0	12.2	2.1
原料別製品	▲6.1	▲25.5	▲3.5	▲6.9	7.9	▲8.3	7.7	▲0.7
鉄鋼	▲2.5	▲46.3	▲7.8	18.2	▲6.2	▲32.3	1.8	▲0.9
非鉄金属	3.4	▲27.9	▲23.1	▲53.0	▲8.0	▲34.3	0.8	▲0.4
金属製品	▲10.8	▲1.3	5.7	9.5	21.9	10.2	1.4	0.1
一般機械	1.1	▲18.6	▲15.6	▲4.7	▲3.8	▲4.4	22.1	▲1.1
電気機器	▲7.0	▲3.8	4.4	3.1	7.7	7.8	16.5	1.2
半導体等電子部品	▲3.5	11.2	5.1	7.2	▲1.3	7.1	2.4	0.2
I C	▲7.1	6.6	▲4.2	▲7.8	▲15.2	2.3	0.9	0.0
映像機器	2.9	▲27.2	▲11.6	3.6	▲8.8			
映像記録・再生機器	20.3	▲20.4	▲9.8	29.5	7.6	▲3.3	0.6	▲0.0
音響・映像機器の部分品	0.2	▲3.3	▲43.3	5.7	21.1	0.5	0.1	0.0
電気回路等の機器	▲7.4	▲14.2	0.8	▲3.2	▲3.7	▲3.2	1.6	▲0.1
輸送用機器	56.4	25.4	53.8	59.0	41.1	1.1	24.8	0.3
自動車	84.0	35.8	75.3	83.5	51.3	2.5	16.5	0.4
自動車の部分品	10.6	21.3	56.4	72.4	38.5	4.8	4.2	0.2
その他	▲3.3	3.1	14.6	11.1	12.5	6.4	15.0	0.9
科学光学機器	▲10.3	▲6.5	11.8	18.3	15.2	4.7	4.6	0.2

(注) 小数点の丸め方による影響で公表資料と完全には一致しない項目がある。映像機器は、速報時点では公表されない。

(出所) 財務省統計より大和総研作成

アジア向け輸出金額 内訳								
	2023/10	2023/11	2023/12	2024/01	2024/02	2024/03		
	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	構成比%	寄与度%pt
総額	▲5.4	▲4.1	3.0	13.5	2.3	6.6	100.0	6.6
食料品	▲21.5	▲21.1	▲13.3	16.0	▲16.0	▲14.8	1.3	▲0.2
原料品	15.7	8.8	31.5	18.0	21.4	6.1	2.6	0.2
鉱物性燃料	▲3.4	26.8	▲14.2	▲34.1	▲21.0	8.6	2.2	0.2
化学製品	▲2.5	▲6.8	▲2.5	15.1	1.3	4.9	14.7	0.7
原料別製品	▲7.0	▲7.3	0.1	12.4	3.7	2.4	13.9	0.3
鉄鋼	▲10.6	▲14.4	▲7.3	2.3	0.1	▲3.7	5.2	▲0.2
非鉄金属	▲5.5	▲2.5	4.1	23.0	7.8	6.6	4.0	0.3
金属製品	▲7.5	▲0.7	4.8	20.2	3.2	6.0	1.4	0.1
一般機械	▲14.2	▲11.0	5.3	11.5	0.5	2.6	19.3	0.5
電気機器	▲5.7	▲0.2	▲0.1	9.8	3.7	8.8	20.8	1.8
半導体等電子部品	▲3.1	7.4	0.5	8.7	5.9	11.7	9.2	1.0
IC	1.6	14.0	5.2	11.7	10.4	16.0	7.2	1.1
映像機器	1.6	▲12.6	▲2.0	27.4	33.6			
映像記録・再生機器	18.7	▲4.2	12.3	▲2.6	16.3	▲2.1	0.3	▲0.0
音響・映像機器の部分品	▲19.7	▲15.5	▲1.8	7.5	▲5.4	1.2	0.2	0.0
電気回路等の機器	▲16.5	▲14.8	▲9.7	▲6.0	▲5.3	▲2.2	2.6	▲0.1
輸送用機器	11.1	▲3.5	28.0	23.3	1.9	12.5	7.7	0.9
自動車	30.8	11.3	45.5	53.5	10.3	22.2	4.4	0.9
自動車の部分品	▲9.4	1.0	3.2	2.6	▲0.4	▲7.5	2.2	▲0.2
その他	▲5.6	▲0.1	2.3	25.2	3.8	13.2	17.5	2.2
科学光学機器	▲20.1	▲1.6	1.8	21.4	6.2	12.8	2.7	0.3

中国向け輸出金額 内訳								
	2023/10	2023/11	2023/12	2024/01	2024/02	2024/03		
	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	構成比%	寄与度%pt
総額	▲4.0	▲2.2	9.5	29.2	2.5	12.6	100.0	12.6
食料品	▲57.3	▲60.3	▲46.7	▲22.2	▲58.8	▲56.2	0.6	▲0.8
原料品	25.8	14.0	36.9	47.8	11.7	20.6	3.4	0.7
鉱物性燃料	3.7	87.5	50.6	64.9	▲30.9	27.7	1.3	0.3
化学製品	1.8	▲8.2	▲2.2	27.3	▲0.5	3.1	17.0	0.6
原料別製品	▲8.6	▲3.2	1.4	27.0	▲2.3	10.6	11.4	1.2
鉄鋼	▲23.3	▲14.5	▲13.1	▲0.6	▲6.5	21.1	2.8	0.6
非鉄金属	▲0.0	13.5	11.1	51.1	2.6	7.9	3.9	0.3
金属製品	▲6.7	▲6.6	2.3	30.8	▲3.2	11.3	1.5	0.2
一般機械	4.4	6.1	33.8	34.1	17.4	20.0	26.6	5.0
電気機器	▲13.5	▲9.8	▲7.1	9.7	0.0	6.0	20.3	1.3
半導体等電子部品	▲23.3	▲15.9	▲22.0	▲6.7	▲4.3	▲1.6	6.8	▲0.1
IC	▲27.8	▲21.9	▲29.2	▲17.2	▲7.0	▲6.7	4.7	▲0.4
映像機器	0.5	▲18.3	▲13.9	24.3	38.5			
映像記録・再生機器	55.8	▲16.1	17.6	▲51.2	28.9	1.4	0.4	0.0
音響・映像機器の部分品	▲34.3	▲34.0	▲20.8	▲8.7	▲36.2	▲23.0	0.1	▲0.0
電気回路等の機器	▲19.8	▲12.5	▲4.9	▲0.2	▲6.3	▲1.5	2.9	▲0.1
輸送用機器	14.4	14.2	54.8	80.4	24.4	46.8	6.3	2.3
自動車	31.8	18.2	78.7	111.4	22.5	120.6	4.1	2.5
自動車の部分品	▲11.5	6.6	15.4	29.4	22.5	▲12.1	1.9	▲0.3
その他	▲16.0	▲7.9	▲1.4	39.9	▲12.7	16.3	13.0	2.1
科学光学機器	▲14.8	▲0.8	8.9	37.0	1.6	27.6	3.7	0.9

(注) 小数点の丸め方による影響で公表資料と完全には一致しない項目がある。映像機器は、速報時点では公表されない。

(出所) 財務省統計より大和総研作成